

10 主な故障状況と対処方法

本機が正常に動かない場合は、次の表をよくお読みいただき製品を確認してください。

取扱説明書に掲載している部品の交換をされる場合は、交換方法をよくお読みいただき、適切に交換作業を行ってください。以下に記載している対処方法を施しても、なお問題が解決しない場合、また、この取扱説明書に掲載していない部品の交換方法・調整方法につきましては、お買い上げの販売店または弊社修理課までお問い合わせください。また、対処方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外のお客様はご面倒ですが、お買い上げの販売店または弊社修理課までご連絡ください。

 **警告** 部品交換を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障修理についてのお問い合わせ先

富士インパルス販売

修理課（東日本）

千葉県流山市南流山 2-27-6

TEL 050-1780-4164

修理課（西日本）

大阪府豊中市庄内栄町 4-23-18

TEL 06-6335-1234

このような時は	ここを確認してください	対処方法
電源ランプが点灯しない	プリンター本体の電源は入っていますか	「7-5 プリンターの電源スイッチを ON」(→ P.13) を参照し、プリンター本体の電源スイッチを ON にしてください
	シーラー本体の電源は入っていますか	シーラー本体の電源スイッチを ON にしてください
	プリンター本体の電源コードはシーラーと接続できていますか	電源コードをシーラー本体の専用コンセントに接続してください
印字がまったく写らない	プリンター本体の電源を ON にして、電源ランプが点灯しますか	※電源ランプが点灯していても改善しないときはヒーターの故障が考えられますので、お買い上げ販売店または弊社修理課までご連絡ください
	プリントテープは正しく取り付けられていますか	「8-2 プリントテープ交換」(→ P.18)、を参照して、プリントテープを正しく取り付けてください
	送り ON/OFF レバーは上がっていますか	「6 各部の名称とはたらき」(→ P.11) >>> ■ 送り ON/OFF レバーの操作について を参照し、送り ON/OFF レバーを上げた状態で使用してください
印字した文字がかすれる、にじむ	プリントテープは純正品を使用していますか	純正のプリントテープを使用してください
	使用するフィルム(袋)に合ったプリントテープを使用していますか	「4 プリントテープについて」(→ P.7) を参照し、使用するフィルム(袋)に合ったプリントテープに交換してください
	活字受けゴム、ガラステープが傷んでいませんか	「8-4 活字受けゴムの交換」(→ P.23) を参照して、活字受けゴム、ガラステープを交換してください

このような時は	ここを確認してください	対処方法
印字した文字がかすれる、にじむ	ホルダー内活字受けゴムが傷んでいますか	「8-5 ホルダー内活字受けゴムの交換」(→ P.24)を参照して、ホルダー内活字受けゴムを交換してください
	活字が摩耗していませんか	「8-3 活字の交換」(→ P.21)を参照して、新しい活字に交換してください
	活字を片寄って配置していませんか	「8-3 活字の交換」(→ P.21)を参照して、活字を中央に配置してください
	活字を押し付ける力、左右のバランスは適切ですか	「9-1 ヒーター部ユニット(活字)の高さ調整」(→ P.26)を参照して、活字の当たり加減を調整してください
	送り切替レバーの位置は適切ですか	「9-2 印字列数の切替」(→ P.27)を参照して、活字の列数に合わせて送り切替レバーを設定してください
	送り ON/OFF レバーは上がっていますか	「6 各部の名称とはたらき」(→ P.11) >>> ■ 送り ON\OFF レバーの操作についてを参照し、送り ON/OFF レバーを上げた状態で使用してください
	プリントテープが片寄っていて、印字するときに活字がプリントテープからはみ出していませんか	「8-2 プリントテープ交換」(→ P.18)を参照し、プリントテープを正しく取り付けてください 印字を繰り返してプリントテープが右や左に片寄る場合は、「9-4 プリントテープの片寄り調整」(→ P.28)を参照し、調整してください
印字跡が強く出る フィルム(袋)に穴が開く フィルムがシールされる	印字温度が足りない、または高すぎませんか	「7-6 印字温度を切り替える」(→ P.13)を参照し、印字温度切替スイッチを切り替えて写り具合を確認してください
	活字を強く当てすぎていませんか	「9-1 ヒーター部ユニット(活字)の高さ調整」(→ P.26)を参照し、活字の当たり具合を調整してください
	印字温度が高すぎませんか	「7-6 印字温度を切り替える」(→ P.13)を参照し、印字温度切替スイッチを切り替えて写り具合を確認してください
	活字受けゴム、ガラステープが傷んでいませんか	「8-4 活字受けゴムの交換」(→ P.23)を参照して、活字受けゴム、ガラステープを交換してください